

地域防災実践型共同研究（特定）（課題番号：30R-01）

課題名：持続可能な防災まちづくりと防災人材育成に関する研究

研究代表者：佐藤 健

所属機関名：東北大学災害科学国際研究所

所内担当者名：岩田知孝・矢守克也

研究期間：平成 30 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日

研究場所：東北大学災害科学国際研究所ならびに自然災害研究協議会東北地区部会メンバーの研究機関

共同研究参加者数：26 名 (所外 24 名, 所内 2 名)

研究及び教育への波及効果について

まちづくり活動の中に防災活動を位置づけ、多様な人材の参画と若い人材の育成に取り組んでいる地域コミュニティに着目し、持続可能な防災活動のロールモデルについて探究した。第 37 回日本自然災害学会オープンフォーラム（仙台）や第 2 回世界防災フォーラム（仙台）等で研究成果を国内外に発信することにより社会実装を促進する効果があった。

研究報告

(1) 目的・趣旨

まちづくり活動の中に防災活動を位置づけ、多様な人材の参画と若い人材の育成に取り組んでいる地域コミュニティに着目し、持続可能な防災活動のロールモデルについて探究することを研究目的とする。

防災を含む多様なまちづくりに関する具体的な活動に取り組みながら、将来の地域人材も育成する活動モデルの確立は、第 3 回国連防災世界会議による仙台防災枠組の実現、および世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台による実行委員長サマリーにも調和した重要な方向性の一つである。東日本大震災の被災地である東北地区における災害科学、防災研究の研究者コミュニティである「自然災害研究協議会東北地区部会」がオール東北で共同研究を展開し、同時に京都大学防災研究所との連携により東北から全国、または世界への研究成果の発信や社会実装につながる大きな期待を持つことができる。

(2) 研究経過の概要

自然災害研究協議会東北地区部会が中心となり、東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センターや、東日本大震災の被災自治体、地域防災リーダーや一般市民とも連携し、以下に示す実践的研究を実施した。

1. 地域コミュニティが内発的に取り組む防災まちづくりモデルに関する事例調査とその要因分析
2. 防災研究成果の社会実装手法に関する研究
3. 持続発展可能な地域防災ロールモデルの構築と高度化
4. オープン・フォーラム等での研究成果の発信および社会還元

(3) 研究成果の概要

1. 地域コミュニティが内発的に取り組む防災まちづくりモデルに関する事例調査とその要因分析

防災まちづくりモデルに関する先進事例として、横浜市の北綱島小学校地域防災拠点運営委員会等に対して現地調査を実施し、持続可能な活動に求められる要因を分析した。「コミュニティ・スクール」をはじめ、地域防災と学校防災の連携・融合の有益性が確認された。

また、石巻市内の小中学校で実践を蓄積してきた学校と地域の協働による復興教育／防災教育の実践モデルを高度化した。この実践モデルの社会実装と普及に向けて、「復興・防災マップづくり」実践の手引き～郷土の自然と暮らしを知るために～の英語版を発刊した。

2. 防災研究成果の社会実装手法に関する研究

岩手大学学校安全学シンポジウム2018「教師教育の充実に向けた『学校安全学』の構築」への参加や、日本安全教育学会第20回山形大会公開シンポジウム「防災教育は学校と地域が協働してこそ多様な価値が創造される」の企画・運営等を通して、防災研究成果の社会実装手法を探究した。

3. 持続発展可能な地域防災ロールモデルの構築

仙台市青葉区の片平地区まちづくり会が推進する「片平流防災まちづくり」の実践に協働することにより、持続発展可能な地域防災ロールモデルを構築し、高度化することができた。

4. オープン・フォーラム等での成果発信および社会還元

2018年10月8日、第37回日本自然災害学会オープン・フォーラム「震災の伝承と防災の未来～被災地へ向き合う「災害と教育」～」を仙台にて開催し、パネルディスカッションと中学生と高校生による防災学習・研究成果のポスター発表を通して、防災人材育成に関して東日本大震災の被災地からの情報発信を行った。加えて、2019年11月、第2回世界防災フォーラム・仙台防災未来フォーラムにおいても、持続発展可能な地域防災ロールモデルに関する情報発信を行った。

(4)研究成果の公表

防災教育国際協働センター編：「復興・防災マップづくり」実践の手引き～郷土の自然と暮らしを知るために～（英語版），2020.3

佐藤 健：持続可能な防災まちづくりと防災人材育成に関する研究，第56回自然災害科学総合シンポジウム講演論文集，45-52，2019.9

佐藤 健，桜井愛子：学校と地域との協働に基づいた防災教育教材の創造―大崎市立岩出山小学校の実践事例，安全教育学研究，Vol.18，No.1，83-91，2019.6

Takeshi Sato, Aiko Sakurai, Yuki Sadaike, Hitoshi Konno, Masahiro Horino, Risa Yanagiya, and Takahisa Mizoi: Sustainable Community Development for Disaster Resilience and Human Resources Development for Disaster Risk Reduction – Katahira-Style Disaster Resilient Community Development -, Journal of Disaster Research, 13(7), 1288-1297, 2018/12

佐藤 健，柴山明寛，桜井愛子，増田 聡：仙台市地域防災リーダーによる地域に根差した防災活動，第15回日本地震工学シンポジウム，2018.12

桜井愛子，村山良之，佐藤 健，北浦早苗：学校・地域・行政の協働による地域防災力向上のための防災人材育成モデルの開発～宮城県石巻市における「石巻モデル」構築に向けて～，日本安全教育学会第19回横浜大会プログラム・予稿集，2018.9